まちづくりのスケジュール

まちづくりは、次に示す概略のスケジュールを基に、順次、事業化に向けた検討を進めます。

施策の方向性		これまで	短期	中期	長期
都	補助第29号線整備		補助第29号線整備	凡例：実施／予定	
都	東急大井町線の鉄道立体化		鉄道立体化の可能性について調査検討	鉄道立体化	
区	延焼遮断帯の形成		延焼遮断帯の形成に資する都市計画の変更	補助第29号線、補助第26号線の延焼遮断帯の形成を促進	
区	建物の不燃化促進		補助第29号線、補助第26号線沿道、木密地域や避難所周辺を中心とする住宅ゾーンの不燃化促進		
区	市街地の安全性・快適性の向上		防災設備等の充実（防災広場等の公共空間）	鉄道立体化に合わせた道路機能の再編	
区	避難ネットワークの形成		生活道路の拡幅整備（大原通り等） 補助第29号線、補助第26号線の整備	鉄道立体化に伴う円滑な避難経路の確保	
区	にぎわいの拠点と軸の形成		駅前広場（交通結節機能）の検討	鉄道立体化を契機に南北に加え、東西のにぎわい軸の形成 駅前広場（交通結節機能）の整備 にぎわい空間の創出	
区	にぎわいの拠点の形成と連携した居住や生活利便機能の誘導		駅北地区における再開発事業 19番地区再開発事業	その他駅周辺街区の共同化推進	
区	にぎわいの軸の形成と連携した歩いて暮らせる回遊性の高い市街地の形成			商店街～駅～戸越公園を結ぶ回遊動線の整備	
区	地域資源を活用したまちのブランド化		（仮称）品川区立環境学習交流施設の整備	公共施設の整備・活用検討等による戸越公園一帯のブランドアップ	
区	戸越公園を拠点とした緑のネットワークの形成			上記取組みと連携した公共施設の緑化推進	

まちづくりの推進体制

区は、まちづくりに関係する事業主体やまちづくり協議会をはじめとする地元活動組織等と連携・調整を図り、一体的かつ効果的なまちづくりを展開していきます。

今後、まちづくりに進展があった場合は、区ホームページやニュース等でお知らせいたします。

基本計画編の内容に関するご質問やご意見等ありましたら、次の連絡先までご連絡下さい。

［お問い合わせ先］
品川区　都市環境部　都市開発課　立体化担当
〒140-8715 品川区広町 2-1-36 品川区役所本庁舎 6 階
Tel：03-5742-6962、Fax：03-5742-6942
E-mail：kaihatsu-rittai@city.shinagawa.tokyo.jp

基本計画編の詳細は、左のＱＲコードを読み取ると区ホームページからアクセスできます!!

戸越公園駅周辺まちづくりビジョン
基本計画編（要約）

基本計画編の策定にあたって

戸越公園駅周辺では、「品川区まちづくりマスタープラン」や「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン」に基づき、安心して暮らせる活力ある地域生活拠点の形成を目指し、まちづくりを進めています。

この度、ビジョンに位置付けた取組みのうち検討段階にあるものを具体化するなど、今後のまちづくりの基本的な考え方を取りまとめた「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン基本計画編」を策定しました。

●基本計画編の『本編』、『概要版』については、区ホームページをご覧ください。

トップページ ＞ 環境・まちづくり ＞ 都市整備 ＞ プロジェクト ＞ 戸越公園駅周辺地区

２０２０年（令和２年）１月
品川区

戸越公園駅周辺まちづくりの将来像

戸越公園駅周辺における防災まちづくり及び活力創出に向けたこれからのまちづくりの方向性を踏まえ、ビジョンで示したまちづくりの将来像等を改めて整理するとともに、未実施の既往施策や取組みについても検討を深度化し、事業化を目指すものとします。

【まちづくりの目標】

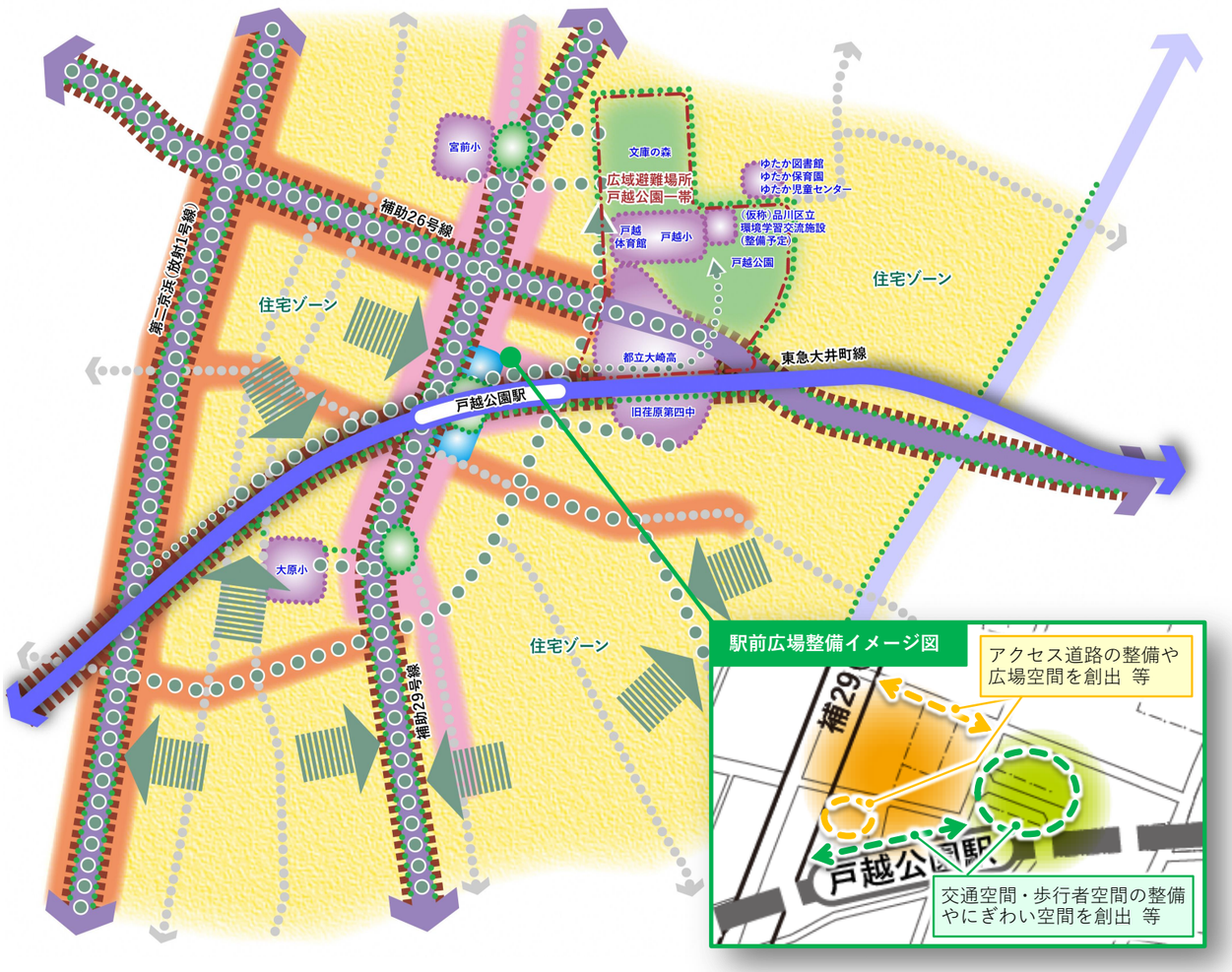
安心して暮らせる活力ある地域生活拠点「Park Life Station 戸越公園」の形成

～補助第２９号線整備および鉄道立体化を契機としたまちづくりの推進～

【戸越公園駅周辺の将来像】

将来像１　快適で暮らしやすく災害に強い安全性の高い街
将来像２　暮らしの拠点として人が集いにぎわいのある街
将来像３　水やみどり・景観などのやすらぎと充実したうるおいのある街

まちづくり将来イメージ図



凡　例			
	駅前商業ゾーン		にぎわいの拠点
	住宅ゾーン		災害時の避難ネットワーク
	沿道商業		住宅地から避難路へのアクセス
	東急大井町線		広域避難場所
	延焼遮断帯の形成		公共施設
	都市計画道路		戸越公園につながる緑のネットワーク
	広場の整備		地区外につながる主要な道路

「防災まちづくり」を推進していきます！！

■延焼遮断帯の形成

・補助第２９号線、補助第２６号線およびその沿道部を延焼遮断帯とし、安全な市街地を形成

■建物の不燃化促進

・住宅ゾーンにおける老朽建築物の除却、建替えの促進による不燃化を図り、防災性を向上

・住宅ゾーン内の道路沿道では建築物の耐震化や不燃化を促進し、災害時の避難の安全性を確保

■市街地の安全性・快適性の向上

・住宅ゾーンにおける狭隘道路の拡幅や道路の再編、敷地整序を実施し、安全性を向上

・歩車分離、踏切解消、無電柱化、駐輪施設の整備等により、安全で安心して行き来ができる市街地を形成

・公共空間等を有効活用した、防災設備等の充実

■避難ネットワークの形成

・道路と鉄道の立体交差化等を促進し、災害時における広域避難場所等への円滑な避難経路を確保

「活力創出に向けたまちづくり」を推進していきます！！

■にぎわいの拠点と軸の形成

・駅前に地域の顔やイベント活動等の場となるにぎわいの広場空間や駅前広場(交通結節機能)を確保

・鉄道立体化を契機に南北商店街の一体化に加え、駅東西の新たなにぎわい軸を形成

・駅前商業ゾーンと沿道商業が連続した商店街を構築、再生

■にぎわいの拠点の形成と連携した居住や生活利便機能の誘導

・都市型住宅と生活利便施設（商業、医療、子育て等）との複合施設の立地を促進し、幅広い年代の定住人口を確保

■にぎわい軸の形成と連携した歩いて暮らせる回遊性の高い市街地の形成

・鉄道立体化を一つの契機として商店街～駅～戸越公園を結ぶ回遊性の高い市街地を形成

■地域資源を活用したまちのブランド化

・地域の貴重な資源である戸越公園の景観と、連続、調和した落ち着きのある街並み景観を創出

・公共施設の整備・活用検討等による戸越公園一帯のブランドアップ

■戸越公園を拠点とした緑のネットワークの形成

・地区内の公共施設や歩道空間等の緑化、民地の生垣化等の促進

・商店街の再生に併せて公開空地や通路、緑地等を確保し、敷地単位での緑化を推進